※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　化学基礎」　（啓林館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活に欠かせない物質の構造や性質について学習し、実験・観察を適宜行うことにより、化学の基本的な概念や原理･法則の理解を深めるとともに､化学を通じて自然科学の認識を深めます。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め､観察･実験などを通して、化学的に探究する能力と態度を育て、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	化学の事物･現象に関心や探究心を持ち､意欲的にそれらを探究することで､科学的思考力や科学的態度を身につけている。	化学の事物･現象の中に問題を見出し､探究する過程を通して､事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本な操作方法を習得し、それらの結果を的確に記録・整理でき、その結果に基づいた探究ができる技能を身につけている。	化学の事物・現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・ノート等	・定期考査 ・実験の考察	・実験の取り組み	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	化学と人間生活	混合物と純物質 元素・単体・化合物	○	○	○	○	a：身近な日常生活や自然現象が化学と密接に関連していることへの興味を図る。 b：物質の化学的な性質を、元素記号を用いた原子・分子を通して分類し、考えを的確に表現している。 c：物質の化学的な性質を、化学実験を通して、記録・整理し、化学的に探究する技能を身につける d：物質の化学的な性質が日常生活と密接に関連していることを理解する。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 実験レポート 小テスト 定期考査

※令和３年度以前入学生用

二学期	物質の構成	熱運動と状態変化 原子の構造 原子の電子配置 イオンの生成 元素の周期表 イオン結合 共有結合 金属結合	○	○	○	○	a: 物質の構成粒子に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 物質の構成粒子に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 物質の構成粒子に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 物質の構成粒子に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 実験レポート 小テスト 定期考査
三学期	物質の変化	原子量・分子量・式量 物質量 溶液の濃度 化学反応式 酸と塩基 水素イオン濃度と pH 酸・塩基の中和 塩の性質 酸化と還元	○	○	○	○	a:化学結合や化学反応式について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:化学結合や結晶構造、また化学反応の量的な関係などについて考察し、導き出した考えを表現している。 c:化学反応の量的な関係などに関する探究活動を行い、探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を記録、整理している。 d:化学結合や物質の分類、また物質量と化学反応式の量的な関係などについて理解し、知識を身に付けている。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 実験レポート 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。